

2/15日政策説明会まで
非公開

令和4年2月9日
臨時部長会議 資料

第三次長野市やまざと振興計画(案)に対する

市民意見等の募集(パブリックコメント)結果及び

計画(案)の決定について

令和4年2月

地域・市民生活部地域活動支援課

1 市民意見等募集の概要

○実施趣旨

中山間地域の振興に向け、実効性のある計画となるよう、広く市民の皆さんからご意見等を募集しました。

○募集期間 令和3年12月1日～12月27日(27日間)

○意見募集方法

➤ 計画(案)の公表による意見募集

- ・広報ながの(令和3年12月号)
- ・市ホームページ掲載(Eメール、ながの電子申請サービス)
- ・窓口における閲覧(地域活動支援課、行政資料コーナー、支所窓口)

➤ 中山間地域13地区住民自治協議会の会議における説明及び意見聴取

2 市民意見等の募集(パブリックコメント)の結果

○募集結果

- ・意見等件数： 8件
- ・意見提出者： 8人(個人、団体等)

3 ご意見等への対応方針及び件数

対応方針	意見等への対応	件数
1	計画(案)を修正・追加する	0
2	計画(案)に盛り込まれており、修正しない	1
3	計画(案)は修正はせず、今後の取り組みで検討又は参考とする	3
4	計画(案)に盛り込まれていないが、検討の結果、修正しない	0
5	その他(質問への回答・状況説明等)	4

パブリックコメント等による個別のご意見、の考え方及び対応方針等の要旨

No	頁	意見要旨	市の考え方	対応方針
1	全般	長野市の中心部と山間部の格差が広がった。今まであった施設がなくなっている。格差を埋めるためには、ある程度大きな資金の投入が必要である。	人口減少や少子高齢化といった社会の変化に対し、将来を見据え、必要とされる規模や財政に見合った規模になるよう施設を管理していく公共施設マネジメントに取り組んでおります。 引き続き、市全体を見渡した効果的・効率的な施設配置となるよう施設の長寿命化や複合化・多機能化等を進めてまいります。	5 その他（質問への回答・状況説明等）
2	全般	施策ごとに各主要事業がまとめられているが、自分の住んでいる地区にどの事業が関係あるのかが分からない。また、その事業によりどのような成果があったかも分からない。第三次計画の評価検証の際は住民自治協議会も加えて検証して欲しい。	本計画の主要事業の進捗管理については、長野市やまざと振興計画庁内推進会議において毎年度、検証してまいります。 また、該当住民自治協議会への報告及び検証について検討してまいります。	3 今後の取組みで検討又は参考
3	25	信更地区住民自治協議会では、空き家利用の取り組みによりこれまで185人の移住者を迎え、これは人口の約1割にもあたる。 空き家バンクなどへの登録に、家主が消極的になる理由のひとつが、空き家の片付けに多額の費用を要することであるため、補助金の限度額をアップしていただきたい。	空き家の利活用を図るため、空き家バンクへの登録を支援する「空き家バンク登録促進等事業補助金」を交付し、財政支援を行っております。 この補助制度については、令和3年度から開始したものであり、今後、交付実績を踏まえ、限度額等の見直しを検討してまいります。	3 今後の取組みで検討又は参考

No	頁	意見要旨	市の考え方		対応方針
4	28	<p>中山間地域の生活道路や公衆用道路の草刈りが年を追うごとに大変になってきている。支障木も増えてきている。そこで、中山間地域の特有の課題解決のための「やまざと支援交付金」の増額は考えられないのか。</p>	<p>生活道路の草刈りは市街地にはない中山間地域特有の課題であり、市では「やまざと支援交付金」により、財政支援を行っております。現在、同交付金の増額は考えておりませんが、地区の皆さんの状況やご意見をお聞きしながら、課題解決に向け検討してまいります。</p>	3	<p>今後の取組みで検討又は参考</p>
5	29	<p>地域おこし協力隊員は、地区のミッションにマッチしている協力隊員は、非常によくやっております。地域の活性化の一役を担っている。 しかし、本人のやりたいこと、地域の想いが相違する場合があります、とても難しい。</p>	<p>地域おこし協力隊として、3年間の任期を終了した時点では、隊員のほとんどが、その地域に定住・定着して新たな担い手として活躍しております。 今後、協力隊員を採用するに当たっては、協力隊希望者と地区の想いに相違が生じないように、ミッションの設定については、今まで以上に慎重に判断してまいります。</p>	5	<p>その他（質問への回答・状況説明等）</p>
6	29	<p>人口流出が続く中山間地域では、地域おこし協力隊員に加え、集落支援員制度も検討して頂きたい。</p>	<p>集落支援員など国の人材活用制度については、先行導入している他市町村の事例を参考とするとともに、制度の趣旨を鑑みて、その支援が地区にとって最善の策か見極めてまいります。</p>	2	<p>計画案盛込み済み</p>

No	頁	意見要旨	市の考え方		対応方針
7	32	<p>信更地区は、傾斜地の複雑な地形上から防災行政無線の音声が届きにくく、暴風雨などの際は全く聞こえない。過去には、集中豪雨による甚大な被害も発生しており、住民は不安であることから、宅内用の防災行政無線を設置していただきたい。</p>	<p>現在、戸別受信機は区長、消防団役員、福祉施設等のほか、土砂災害特別警戒区域の住民など、緊急性の高さに応じ貸与しており、全戸への貸与は考えておりません。なお、電話のフリーダイヤル(0120-479-231)で直近の放送を再確認していただけるほか、スマートフォン等で防災行政無線と同じ内容を音声や文字で確認できる防災アプリ「長野市防災ナビ」がありますので、ご活用ください。</p>	5	<p>その他 (質問への回答・状況説明等)</p>
8	32	<p>信更地区は、光ファイバーが整備されていない地区があり、インフラ整備の遅れは若者の地域離れにつながり、移住施策、空き家利用にも障害であることから、情報事業者への補助制度の創設などにより、情報通信網の遅れを解消していただきたい。</p>	<p>通信事業者には、光ファイバー整備については、すでに国の補助制度がありますので、本市としては、通信事業者に対し、随時、地元要望等、情報提供してまいります。</p>	5	<p>その他 (質問への回答・状況説明等)</p>

◇今後の予定

時 期	内 容
2月9日	部長会議 (パブリックコメントの結果及び計画の決定内容の説明)
2月15日	市議会政策説明会 (パブリックコメントの結果及び計画の決定内容の説明)
4月 1日	第三次長野市やまざと振興計画 スタート